

平成27年4月27日 / 阿波観光ホテル

とくしま観光ものがたり!! 一人一人が語り部に

講師 ティアンドアイ(観光コンサルタント) 代表
元・アスティとくしま 館長
徳島経済研究所主催の徳島観光ビジネス活性化研究会 観光アドバイザー
岩井 敏久 氏

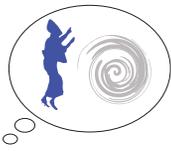


主催：徳島経済同友会

「今後、徳島県の観光振興は如何にあるべきか？」についての講演会が行われました。電話一本で情報提供や観光コースの提案、見積り、手配等を全て行う、ワントップサービス「堺モデル」を作り上げたほか、民間観光関係者との連携で数多くのツアー商品を作成し、観光客誘致に大きな成果を上げた岩井敏久氏を講師に迎え、多数の来場者が熱心に聞き入りました。

始めに

私が大阪に
いる時に、徳島
島の事で耳に
入るのは、大
半が「徳島は
阿波踊りとうずしおだけ」と言う言葉でした。一年前から徳島経済研究所で観光アドバイザーを行っています。タクシーに乗った時に聞こえてくるのは「徳島には何もない」と言う言葉です。県内でも県外でもこう言われま



すが、実際はトップレベルの観光地になる要素がたくさんあります。

徳島に求められるもの

徳島には着地型観光を薦めます。着地型観光とは、地域が新しい観光素材を掘り起こして、旅行プランを組み立て、集客して現地で儲かる仕組みを作ることです。私は観光支援を始めて二〇年近くになりますが、観光は裾野が広いビジネス産業だということが分かりました。観光は宿泊だけでなく、土産や飲食などを含めると、印刷やバス代や設備投資、駐車場や新しい館ができたりと裾野がどんどん広がります。観光業を始めると、印刷業者など、あらゆるものが儲かります。

堺モデル

私は各地で観光に対する様々な提案をしてきましたが、堺に観光客を呼び込もうという話があった時に、私に声がかかり

ました。

当時の堺には観光地のイメージがなく団体観光客の取り扱いもありませんでした。観光客の受け入れ態勢も整っておらず、公的施設の全ては月曜日が定休日になっていて、民間の大半が土・日・祝日は定休日でした。観光地にはトイレや駐車場もない状態で、パンフレット通りに回ってみると、そこでもありませんでした。問題に取り組み、多くの行政の意識改革が行われました。

例えば、堺市役所21階の展望台には30万人近くの人を訪れるようになりました。以前は「展望ロビー」に人を入れてケガをしたら誰が責任を取るのか」「上に登るためにわざわざ駐車場の予約はできない」など、全く受け付けてもらえませんでした。しかし、様々な観光手段を取り入れる中で行政は変わっていききました。今では団体の駐車場があり、

強いところを売り出す

観光振興で注目してもらいたいのは、観光素材の洗い出しをすることです。観光素材を掘り起こして物語を作ります。徳島は優れた食文化を持っています。オオゲツヒメと言う古事記に出てくる食の神様は徳島の神様です。徳島には有名なお菓子がたくさんありますが、全て観光素材になります。新たな食の開発を進めて、味の追求をしていくことが重要です。

堺では、普段相手にされない小さなお店が皆観光振興に参画してきましたが「それぞれ特徴を持っているものを上げる」という一つの条件を付けて、良いと思ったものは観光戦略に入れていきました。強いものを売り出せば、必ず波及していきます。強いものを売り出せば周

りが見えてきます。後は消費者が判断します。判断した結果売れなければ新しいものを売ります。何もしなければゼロです。

私が堺にいたときに、とある市の商工会議所に電話をして、美味しいお店を紹介してくださいと尋ねたことがあります。

しかし、個別のお店を紹介することはできないと言われました。これでは何も進みません。堺でも、南宗寺という三好長慶が建立したお寺を観光スポットトにし



ようとすると、宗教なので売り出せませんと行政に言われました。それが今ではガイドを付けて案内しています。そうすると神社仏閣がどんどん参画してきて、行政は変わっていきました。強いところを売り出せば周りも影響を受けていきます。始めは相手にされなかつたお店もみんな儲かるよ

うになりました。

一番大事なことは、自分の商品や歴史を語るようになったことです。商売で語ってはいけません。和菓子売るなら堺の和菓子の為に語ります。今ではどのお店もプロ並みで、私の出る幕はなくなりました。

徳島の観光素材

阿波踊り・大名鯨船千山丸のぼり窯・世界初陶板・大塚美術館・渦潮・第九交響曲・たぬきのブロンズ像・義経の騎馬像・太龍寺ロープウェイ・シラタマモ・葉王寺ゆぎ塔・化石連痕・山のないトンネル・かずら橋

ここにあげたのはほんの一部です。徳島にはいくらでも観光素材があるのにアピールできていません。

最近では東新町の商店街がアニメで注目されています。しかし、実際に商店街に行くと旗は立っていても何もありません。アニメの街と言うなら、道に立体に見えるアニメのトリック絵を描けばい

いと思います。ちよつとした手心がアピールになり、集客につながります。

新町川には瀬戸内寂聴さんの文化勲章受賞記念碑があります。この記念碑をくぐると幸せになれると言われています。天橋立を模して記念碑を股のぞきすると、眉山の山頂がきれいに見えます。これでまた幸せを呼ぶことができます。水際公園周辺の風情もいんです。

眉山には神武天皇の像があります。神武天皇の像は、日本に宮崎県と徳島県の二体しかありません。明治三〇年に明治天皇が乃木大将に依頼して建てられました。誰も神武天皇の顔を知らなかったで、明治天皇の顔をモデルに作られました。なぜ神武天皇像が徳島に建てられたかと言うと、徳島は天皇家と大きな係わりがあるからです。神武天皇は徳島の出で神武天皇を産んだトヨタマヒメが祀られているのも徳島だけです。

松茂町には「A4スカイホーク」というブルーエンジェルズが使った戦闘機が展示している病院があります。院長がアメリカからもらってきたもので、一般公開されています。

方上町には、自然の本当の山で、日本一低い弁天山があります。日本の一番低い山を制覇するとう観光素材に使えます。登頂証明書を発行するなど、様々な観光の仕方があります。

小松島には義経象があります。徳島の地元の武将が手伝わなければ、屋島の合戦はありませんでした。歴史の原点を生み出したのは小松島です。今は義経ロードも整備されているので、観光に使えます。

徳島の観光振興は如何にあるべきか

数ある徳島の観光素材を洗い出し、徳島県人の手によって観光のブランド力を高めます。一人ひとりがセールスマンにな

って、徳島の事が話したくて仕方なくなるぐらい勉強しておくことも必要です。そして、自分たちで徳島を回って、観光の地産地消を推進します。小さいころから徳島について教育することも大事です。官との連携も必要で、行政は予算や人材育成などを確保して手助けします。ホームページなどを使って有効な情報を発信し、しっかりとした組織を作り上げます。そして、観光関連や地元の人など、セールス仲間を増やしていきます。そうすれば、徳島は日本トップレベルの観光地になります。

魅力ある徳島を再発見

徳島は有り余る程の素材の宝庫で、四国随一の観光素材を持っています。観光は誰にでも参加できるビジネスです。観光県の徳島に期待して、観光の夜明けを迎えたいと思います。

(文責・編集部)